

一般財団
法人

鹿児島陸上競技協会通信 『恒星』

第 25 号

2018.1.7

TEL 099-259-6053/FAX 099-299-6054 HP;http://www3.synapse.ne.jp./karikupage

謹賀新年 平成30年元旦 成 翔ける!

2020年 第75回国民体育大会鹿児島大会まで後1000日

鹿児島陸上競技協会の会員に皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は県立鴨池陸上競技場の改修工事が本格化して、何れかと不自由な競技会運営を強いられましたが、皆さんの理解と協力をいただき、大過なく運営をすることができました。心からお礼と感謝を申し上げます。ただ、後半の補助競技場の競技会では、新たに購入していただいた移動式の写真判定機が不調となり、手動で計測を行うことになり、多くの方々に御迷惑をお掛けいたしました。改めてお詫言を申し上げます。

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」会期決定 第75回国民体育大会 2020年10月3日(土)～13日(火) 陸上競技は 10月9日(金)～13日(火)5日間

2020年開催の第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の会期が決定し、10月3日(土)～13日(火)の11日間となりました。1月7日は大会まで残りちょうど1000日という節目の日であります。

陸上競技は10月9日(金)～13日(火)の5日間の日程で行われます。いよいよという思いがしてきています。

第20回全国障害者スポーツ大会

「燃ゆる感動かごしま大会」10月24日(土)～26日(月)

また、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」は、国体開催2週後の10月24日(土)～26日(月)の3日間にわたって行われます。

全国障害者スポーツ大会は、本県で初の開催となります。例年県障害者スポーツ大会を主管団体として運営を行っていますが、3日間という日程で、しかも多様な障害の種目に対応することが求められ、今後一層の研修や研鑽を重ねる必要があります。

鴨池陸上競技場改修工事本格化 31年3月竣工

鹿児島国体開催に向け、県立鴨池陸上競技場の工事も本格化してまいりました。現在メインスタンドの屋根が取り付けられ、3階部分の工事が進められています。貴賓室をはじめアナウンス室や電光掲示盤操作室等が整備されます。また、昨年11月末からは電光掲示盤の工事も進められています。本年2月末には完成することになっていきます。なみに、新しくなる電光掲示盤は現在の基礎部分を活用することになるために、規格は現在とほぼ同じサイズになりますが、表示色は約1,677万色のフルカラー、表示素子数はハイビジョン並みの約72万個で、動画の表示も可能となり、一新されます。完成が楽しみです。

30年度の競技会は鴨池補助競技場で実施 理解と協力を!

鴨池陸上競技場の工事のために、30年度の競技会の多くを補助競技場で開催することを余儀なくされる状況で、不便、不自由な競技会運営が予想されます。円滑な運営に一層の御理解御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、一部の競技会は新たに改修された薩摩川内市総合運動公園陸上競技場で行う方向で検討されています。

まったなし 競技力及び審判技術の向上!

国体成功の鍵は、いうまでもなく選手の活躍と円滑な競技運営です。

競技力の向上に関しては、ここ4、5年期待に応える結果が出ず厳しい状況が続いていましたが、愛媛国体では久しぶりに天皇杯得点で40点台を獲得し、低迷に歯止めをかけ、鹿児島国体に向けて手掛かり得ることができた思いがしています。

陸上競技は多くの競技役員や補助役員の協力なくしては運営はできません。国体に向けて、競技役員の確保については一定の見通しはありますが、審判技術の向上が喫緊の課題であります。そのためには、地道に経験を積み重ねることしかありません。30年の競技会では、2020年の国体を見据えて審判技術の向上に取り組んでまいりましょう。

30年も皆さまの御支援御協力を切にお願い申し上げます。

愛顔つなぐえひめ国体 2020年への希望をつなぐ

下野伸一郎(九電工) 堂々の4年連続入賞

久保木春佑(鹿児島高)も少年男子走高跳で復活の2位

天皇杯総合得点 45.5点獲得 2020年につなげる

第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」陸上競技会は10月6日から10日までの5日間にわたって、愛媛県松山市の県総合運動公園陸上競技場で開催されました。本県からは8人のふるさと選手を含め、男子18人、女子11人の合計29人の選手が出場しました。

大会初日に登場した国体出場12回目となる九電工の下野伸一郎が成年男子走幅跳で2位に入り、4年連続となる上位入賞を飾り、賞録を苦しめました。

また、3年生になって苦しい戦いが続いていた鹿児島高校の久保木春佑が、少年男子Aの走高跳で復活の準優勝を遂げました。さらに、少年男子共通三段跳の鹿児島高校の若崎孝史と少年女子共通1500mの神村学園の平田歩弓がそれぞれ3位に入り、4種目において上位入賞を果たしました。

5位に少年男子A棒高跳の鹿児島南高校の麻生幹雄と少女女子B走幅跳の高尾野中学校の竹元咲が入り、神村学園のカマウタビタジュリが少女女子A3000mで7位入賞を果たしました。

前回の若手国体では個人種目3人で4種目と男子400mRの5種目入賞で、男女総合32点、36位でしたが、今回は男女総合の天皇杯得点45.5点を獲得し、27位と順位を上げました。女子総合の皇后杯は22点を取り、昨年の46位から29位に順位を上げました。

この4年間本意な成績が続きましたが、2020年の鹿児島国体に暗雲が漂う感じがしていますが、その低迷に終止符を打ちつけています。これまで指導して取組んでくれた関係各位を労い、するとともに、今後一層の取組を期待しています。

成年男子走幅跳	2位	7 m60	下野伸一郎(九電工)
少年男子共通走高跳	2位	2 m03	久保木春佑(鹿児島高)
少年男子共通三段跳	3位	15 m19	若崎孝史(鹿児島高)
少年女子共通1500m	3位	4'20"49	平田歩弓(神村学園)
少年男子A棒高跳	5位	4 m70	麻生幹雄(鹿児島南高)
少年女子B走高跳	5位	5 m64	竹元咲(高尾野中)
少年女子A3000m	7位	9'01"51	カマウタビタ(神村学園)

天皇盃・皇后盃

都道府県対抗女子・男子駅伝競走大会

☆☆☆ 本県チーム代表候補選手決定 ☆☆☆

新春恒例の全国都道府県対抗駅伝競走大会は、女子が1月14日に京都で、また、男子は21日に広島で行われます。候補選手たちは大会に向けて、練習会や年末に吹上浜公園で合宿を行いました。

2015年の大会で15年振りに男女アベック入賞を果たしてから3年経ち、その再現を期して練習を重ねてきました。合宿を経て、雰囲気も整ってきています。きっと県民や陸上競技関係者の熱い期待に応えてくれることでしょう。12月の常務理事会で下記の選手たちを本県代表候補として選考しました。今後選手の調子を考慮して、出走メンバーを決定します。選手たちの活躍を後押しする、温かい御声援をよろしくお願ひいたします。

第36回となる女子は、1月14日(日)12時30分スタート。9区間42.195kmで争われます。

(選手)	戸田 真由香(京セラ)	堀重 七海(京セラ)	倉前 奈々(鹿児島銀行)	金平 音香(デンソー;ふるさと選手)	平田 清歩(鹿児島女子高校3年)	中尾 梨奈(鹿児島女子高校3年)	田代 結り(神村学園高等部2年)	小森 陽向(神村学園高等部2年)	山崎 七海(樟南高校2年)	山崎 陽向(鹿児島女子高校2年)	山崎 陽向(樟南高校1年)	山崎 陽向(田崎中学校3年)	山崎 陽向(田崎中学校3年)	山崎 陽向(城西中学校2年)	(監督) 立 迫 俊 徳(国分中央高校教諭)	(コーチ) 岩 下 邦 浩(谷山中学校教諭)	(支援) 諏 訪 原 弘 道(樟南高校教諭)	(庶務) 立 元 玲 夏(大崎中学校教諭)	(庶務) 立 元 玲 夏(出水養護学校教諭)
------	-------------	------------	--------------	--------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	---------------	------------------	---------------	----------------	----------------	----------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------

男子は広島で21日(日)12時30分号砲

第23回の大会となる男子は、21日に7区間48.0kmで戦いが繰り広げられます。旭化成の有村優樹をふるさと選手として加え、2人の大学生や高校生、中学生の総合力で勝負します。頑張れ!

(選手)	有村優樹	旭化成(青山学院大学3年)	ふるさと選手(早稲田大学3年)
(監督)	池田辰彦	明桜館高校教諭	明桜館高校教諭
(コーチ)	小田山秀善	高尾野中学校教諭	高尾野中学校教諭
(コーチ兼庶務)	外山善久	指宿商業高校教諭	指宿商業高校教諭
(支援コーチ)	清田友将	鹿兒島実業高校教諭	鹿兒島実業高校教諭
(トレーナー)	溝上湧	和田中学校教諭	和田中学校教諭

駅伝大会ニュース

県中学校駅伝競走大会 11月9日 指宿で開催

田崎中 男女アベック優勝 22年振り

女子は3年連続3回目の制覇 男子は初優勝

平成29年度県中学校総合体育大会第66回男子・第30回女子県中学校駅伝競走大会は指宿陸上競技場を発着とするコースで11月9日に行われました。男女とも各地区の予選を勝ち抜いた39チームが、男子6区間20.0km、女子5区間12.0kmで熱戦を展開しました。男子は1区から上位をキープし、最終区5位で襷を受けた田崎中学校の須山向陽が4人抜きの大快足を演じ、逆転の勝利を飾りました。

女子は前回のメンバーが多く残った田崎中学校がスタートから独走。予想どおりの展開で、前回の記録を1分31秒短縮し、圧巻の3年連続3回目の勝利を遂げました。男女の快挙で、指導にあっている大村昌作監督は川内南中学校在職時代に5連覇を達成しており、すばらしい指導実績を残しています。

男女共1位は全国大会へ、2位までのチームは九州大会に出場しました。

男女3位入賞のチーム及び記録は、次のとおりです。

【男子】	1位	田崎中	1° 4' 8"
	2位	山崎中	1° 4' 10"
	3位	星峯中	1° 4' 17"
【女子】	1位	田崎中	40' 30"
	2位	国分南中	41' 53"
	3位	宮之城	42' 34"

九州中学校駅伝競走大会 11月25日 福岡嘉麻で開催

女子 田崎中準優勝 国分南中5位入賞

平成29年度九州中学校体育大会第37回男子・第29回女子九州中学校駅伝競走大会は福岡県嘉麻市の嘉穂総合運動公園陸上競技場を発着点とするコースで、各県の予選を勝ち抜いてきた男女それぞれ18チームが出場して行われました。男子は県大会と同様6区間20.0km、女子も同じ5区間12.0kmで争いました。

女子は田崎中学校の原田まりんが1区で区間賞を取る活躍で準優勝を飾りました。記録は県予選会のタイムとほぼ同じ40分34秒。国分南中学校は県大会の記録を更新する41分38秒で5位入賞を果たしました。

男子は県予選会を2位で駒を進めた日当山中学校が1時間4分53秒で9位、県大会を制した田崎中学校は1時間5分41秒で11位でした。また、田崎中学校のアンカーを務めた須山向陽が区間賞を獲得しました。

なお、男子優勝は福岡県の曾根中学校で、タイムは1時間2分54秒。女子の優勝は熊本県の山鹿中学校で、40分22秒の記録でした。

全国中学校駅伝競走大会 12月17日 滋賀県で開催

田崎中 女子健闘5位入賞 男子39位

全国の各県の代表チームが集う第25回全国中学校駅伝競走大会は、12月18日に滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン特設コースで、男子6区間18.0km、女子5区間12.0kmの距離で日本一を目指した戦いが繰り広げられました。本県からは男女共田崎中学校が出場。女子が42分15秒で5位入賞を果たし、男子は1時間31秒のタイムで39位でした。女子の原田まりんが1区で区間賞を獲得しました。

県高校駅伝競走大会 11月2日 指宿で開催

男子 鹿兒島実高20連覇 女子 神村学園 県高校新V

第68回県高校男子駅伝競走大会及び第31回県高校女子駅伝競走大会は、11月2日指宿市菅陸上競技場をスタート・フィニッシュとするコースで行われました。

男子は7区間42.195km、女子は5区間21.0975kmで争われました。

2月の県高校新人駅伝大会で樟南高校に敗れ、厳しい戦いが予想されていましたが、1区安藤大樹の執念の走りだけで終始独走。伝統力を発揮して20年連続49回目の優勝を更新する走りで2年連続24回目の勝利を飾りました。男女3位までの入賞校は次のとおりです。各校は11月18日に沖縄県今帰仁村で行われた九州大会に出場しました。

【男子】	1位	鹿兒島実業高	2° 8' 52"
	2位	樟南高	2° 10' 16"
	3位	鹿兒島工業高	2° 11' 32"
【女子】	1位	神村学園高	1° 8' 0"
	2位	樟南高	1° 10' 28"
	3位	鹿兒島女子高	1° 11' 28"

(県高校新・大会新)

全九州高校駅伝競走大会 11月18日 沖縄県で開催

神村学園 2年連続6回目の優勝 鹿兒島実高 3位

第70回男子・第29回女子全九州高校駅伝競走大会は、11月18日に沖縄県今帰仁村総合運動公園付帯コースで、男女各24チームが出場して行われました。

神村学園高校が2年連続6回目の栄冠に輝きました。本県の代表チームの成績は次のとおりでした。

【男子】	3位	鹿兒島実業高	2° 11' 4"
	8位	樟南高	2° 13' 47"
	11位	鹿兒島工業高	2° 14' 22"
【女子】	1位	神村学園高	1° 10' 8"
	7位	樟南高	1° 12' 23"
	11位	鹿兒島女子高	1° 13' 32"

全国高校駅伝競走大会 12月24日 都大路で開催

神村学園 8位入賞 鹿兒島実高 30位

年末恒例の第68回男子・第29回女子全国高校駅伝競走大会は、全国各県の代表が出場して12月24日に京都で行われ、本県からは鹿兒島実業高校と神村学園が出場。両校とも出場回数上位を誇る伝統校チーム。特に、女子の神村学園は予選タイム上位に付け、初優勝の期待がかかっていたにもかかわらず、前半の出遅れに苦しみながらも最終区で挽回し、1時間9分4秒のタイムで8位となり、2年連続の入賞で締めくくりました。男子の鹿兒島実業高校は流れに乗れず、2時間9分8秒、30位でフィニッシュしました。

地区対抗 県下一周 駅伝競走大会

第65回市郡対抗県下一周駅伝競走大会
2月17日(土) 9時号砲 21日(水)まで5日間走破
第31回県地区対抗女子駅伝競走大会
1月28日(日) 10時スタート 準人・国分路で展開
駅伝・スポーツの力で地域を盛り上げて、ふるさと創生、連帯の輪を広げる力に! 無事故とノーミスで駅伝の輝きをつなぎましょう!

中継所競技役員へお願い

- ① 中継所審判主任が中心となって、必要な用具(記録用紙、ストップウォッチ、机、椅子、ロープ、コーンなど)を確認すること。
- ② 記録員が1人で着順判定とタイムの記録を行うと、記載ミスなどを起こしやすくなるので、必ず2人以上で確実に任務を分担し、連携の確認やシュミレーションを行うとともに、記録の転記にあたっては復唱をするなどしながら記入をすること。
- ③ 計時を担当する人は、事前にストップウォッチの取り扱い方や計時方法等の確認をしておくこと。また、ストップウォッチは時報を基に事前に始動して、中継所で待機すること。1秒未満の記録はすべて切り捨てることとする。
- ④ 繰り上げをした中継所については、記載ミスがないように十分留意し、本部審判員との確認を確実にすること。
- ⑤ 中継所での事故を防止するために、襷を受け取る選手は道路のセンターを背にし、「左手で受け取る」ように指導すること。

中継所は危険がいっぱいです!

衝突などトラブル発生にも留意してください!

中継所審判主任は現地の警察官や自主交通整理員等との確認・連携を図り、中継所の安全管理・確保に努めてください。